

会議名	長浜市指定管理者選定第2委員会 (令和8年度第2回会議)
日時	令和8年9月2日(水) 13:00~15:00
審査対象	浅井地区スポーツ施設

審査結果概要

- (i) 施設所管課(文化スポーツ課)からの募集経過説明
- (ii) 申請団体((株)スポーツマックス)による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答
- (iv) 採点、集計
 - 1,000点満点中:653点(100点満点中:65.30点)
- (v) 申請団体((公財)長浜文化スポーツ振興事業団)による説明、プレゼンテーション
- (vi) 質疑応答
- (vii) 採点、集計
 - 1,000点満点中:852点(100点満点中:85.20点)
- (viii) 審査
 - ・指定管理者候補として適当と判断する者
 - 所在地 長浜市大島町37番地
 - 名称 公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団
 - 代表者 磯崎 真一
 - 選定にあたっての条件 特になし
 - ・次点候補者として適当と判断する者
 - 所在地 愛知県名古屋市中区池上台二丁目37番地1
 - 名称 株式会社スポーツマックス
 - 代表者 兵藤 大二郎
 - 選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

◆申請者:株式会社スポーツマックス

委員:自主事業について、p9によると、多彩な自主事業を提案いただけるということだが当施設ではどのような事業を考えているのか。

⇒類似施設での実績では、夏祭り、プールの怪談を設置したイベント、大道芸人を呼んだイベント、元プロの選手を呼んだ野球教室、サッカー教室などを行うことを考えている。ただし、現時点では一般利用の定期利用の状況が把握できていないので、既存利用者を優先しながら、空き時間を活用する形で当てはまるメニューを提供したい。

委員:自主事業の提供メニューがたくさんある一方で、どれをやるというのが決まっていない。しかし、収支計画では自主事業収入が細かく計上されている。積算の根

拠を教えてほしい。

⇒現在の指定管理者の事業実績の2%増収で算出した。具体的な事業を積み上げて積算したものではない。現在運営している18施設では、前年対比2%増収を達成しており、実現可能な水準だと認識している。

委員：長浜市の市域及び施設の立地状況についてどのように考えているか。また、この施設をどのように活用するつもりなのか具体的に教えてほしい。

⇒地域連携が得意分野。地区にあるこども園、保健センター、介護施設との連携しながら施設の活用の仕方を模索したい。また、水泳は未就学児から中学生までを指導できる体制があり、うまく活用したい。

委員：この地域をどのように見ているかを教えてほしい。

⇒11万人の人口があるが、この地域は住宅地。これから人口が減少していく地域であるので、ターゲットを絞るのではなく、幅広い年齢層に向けた事業展開が必要。

委員：周辺からの集客について、人口の絶対数が少ない地域。集客の考え方を確認したい。

⇒今までにないSNS活用や広報活動を展開することはもちろん、イベント毎の集客に力を入れることで、利用者は増加すると考える。

委員：納付金割合を50%と設定した数字の根拠を教えてほしい。

⇒収支計画では納付金が発生するのは4年目と5年目の後半2年間のみのため、少なくともそれくらいはないとアピールにならないと考えた。実際には早期に納付金を納められるよう取り組む。

委員：収支計画の自主事業収入のなかに雑収入とあるが、具体的にどのような収入を想定しているのか。

⇒施設利用の際に必要な物品（水着やトレーニング用品）の販売収入等を想定している。

委員：収支計画書に納付金の記載がないのはなぜか。

⇒収支が固まってから納付するものと認識していたので、収支計画に考慮する必要がないと勘違いしていた。

委員：指定管理料は満額（800万円）ではなく減額して申請しているが、指定管理料を減額しても問題ないのか確認したい。

⇒稼働率は100%ではないと考えている。稼働率が低い時間帯の要因分析をし、対策をすることで収入は増やせると考えているので、指定管理料は提案金額で差し支えない。

委員：収支計画書の中で維持管理費がほぼ同額だが、積算根拠を教えてほしい。

⇒本来であれば、しっかり積算すべきであるが、運営する中で実績を見ながら調整するので、この数字で問題ない。

委員：最も重要な安全配慮の体制を確認したい。

⇒会社全体で夏の前に研修を行っている。また、元々、水泳指導の会社であるため、指導監視はプロフェッショナル。安全配慮は問題ない。

委員：利用者の達成人数が増えるように設定しているが、地域的に利用者を増やすのが難しい地域。それだけ魅力があるメニューを提供できると考えてよいか。

⇒定期利用者を増やすことが一番大事。今までにない自主事業を提供しながら利用者を増やす。常に新しく市民が求めるものを出し続ける。

◆申請者：公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団

委員：基本的には浅井地区の人に活用してもらうことが根幹であるとする。一方で長浜市地域全域もしくは市外からの誘客についてどのように考えているか。

⇒この施設はスポーツ、公園、レクリエーションが一つになった珍しい施設。

感謝祭、サップ体験、鮎つかみなどで市内利用者を増やしたい。また市外利用者については、合宿誘致等で増やしていきたい。

委員：大会や合宿誘致に向けた具体的な手法は何か。

⇒旅行会社との連携やこれまで培ってきた各競技団体とのつながりを活かす。また、市内で複数施設を運営しているとの強みがあるので、施設間連携（大会分散開催等）を通じて誘致に挑む。

委員：トラックの利用について、個人料金 100 円を新設定するとの提案があったが、この提案に至った考え方を教えてほしい。

⇒全天候型ウレタン舗装の貴重なトラックだが平日昼間に空きがある。大人・子どもを問わず 1 人 100 円で個人利用できるよう新たに提案し、市の承認を得て使いやすい条件としたい。

委員：施設の老朽化が進んできていると思われるが、修繕が間に合わず利用できない期間が生じている施設はあるか。

⇒現状、利用できない施設はない。遊具等の突発的な使用停止が生じた場合は、指定管理で直せる範囲は対応し、大規模なものは市に要望して計画的に修繕する。日程調整を行い利用に支障が出ないよう対応している。

委員：収支計画において、指定管理業務単体では赤字となっており、自主事業収入を充てる計画となっている。自主事業収入がしっかり確保できる計画か確認したい。

⇒体験的イベントは収益が望めないが、水泳教室などの自主事業で収益を確保し、得た収益は施設の安心・安全な管理、利用者の快適な環境の確保への還元に充てる。

委員：アクセス課題への対応について、駅から距離があり、アクセス情報をわかりやすく発信するとあるが、アクセス情報を伝えたところで駅から距離があるので、解決策なのか疑問。

⇒当施設はアクセスに課題がある。一方で、合宿しやすい自然環境であるとの強みがある。そういった強みを生かして大型バスで来てもらえる合宿誘致等を進めていきたい。

委員：収支計画書の使用料・賃借料について、要項では、令和7年度の実績は700千円程度だが、計画書では3,400千円ほどになっている。3,000千円近く増えた要因は何か。

⇒芝生管理用の産業機械の耐用年数が節目を迎えるため、新たな機械のリース料を計上している。リフレッシュした状態で維持管理に当たる。

委員：利用者から、当施設についての苦情などはあるか。

⇒年間200～300件程度の意見がある。その中で苦情としては、風が強い日はグラウンドの土が飛ぶ、グラウンドの土が水路に流れる等のご意見をいただくことがある。散水により土の飛散防止、年に1回の溝の土あげを行う等、いただいたご意見に適宜適切に対応している。

委員：利用者数の目標について、5年間毎年350人ずつ増やす目標を設定しているが、達成見込みについて教えてほしい。

⇒合宿誘致はもちろん、学校のプール老朽化に伴う児童・生徒の受け入れ、浅井文化スポーツ公園内の別施設の利用者をちょこっとスポーツ体験などでプールに誘導し利用者を増やすことで目標は達成可能。

審査

委員：（公財）長浜文化スポーツ振興事業団は永年の実績もあり、施設運営の課題もしっかり認識していた点が高く評価できる。（株）スポーツマックスは他府県で実績があり、安定して運営してもらえらると思うが、ことごとく具体性が見えてこないのが残念だった。長浜市、浅井地域のことをどれだけ知ってくれているのか不安になった。

委員：（公財）長浜文化スポーツ振興事業団は地域のことをよく見ている点が高く評価できた。（株）スポーツマックスは全国パターンのをそのまま提出された印象で浅井地域のことについて質問したが答えをいただけなかった。自主事業はいろんなことができるということであったがローカライズができていなかったことが残念だった。

委員：（公財）長浜文化スポーツ振興事業団は長浜市を中心に地域性を活かした提案をしてもらったことが高く評価できた。（株）スポーツマックスは地域性を活かした提案が弱ったことで評価に差がついた。

委員：（公財）長浜文化スポーツ振興事業団は地域のことも考えており、安定した施設運営をしてもらえらる感じる提案。（株）スポーツマックスは地域のことをわかっていないまま提案していると感じた点が残念だった。

委員：(公財) 長浜文化スポーツ振興事業団は永年の実績もあり提案に安定感があった。

一方で、施設の利用促進につながる新たな事業の提案をいただきたかった。(株) スポーツマックスは新しい風を吹き込んでくれそうな期待感があったが、提案に具体性が欠け、本気度が伝わってこなかった。

委員長：それでは、指定管理者候補として公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団、次点候補者として株式会社スポーツマックスとして決定してよろしいか。

全委員：異議なし。